

結果の概要

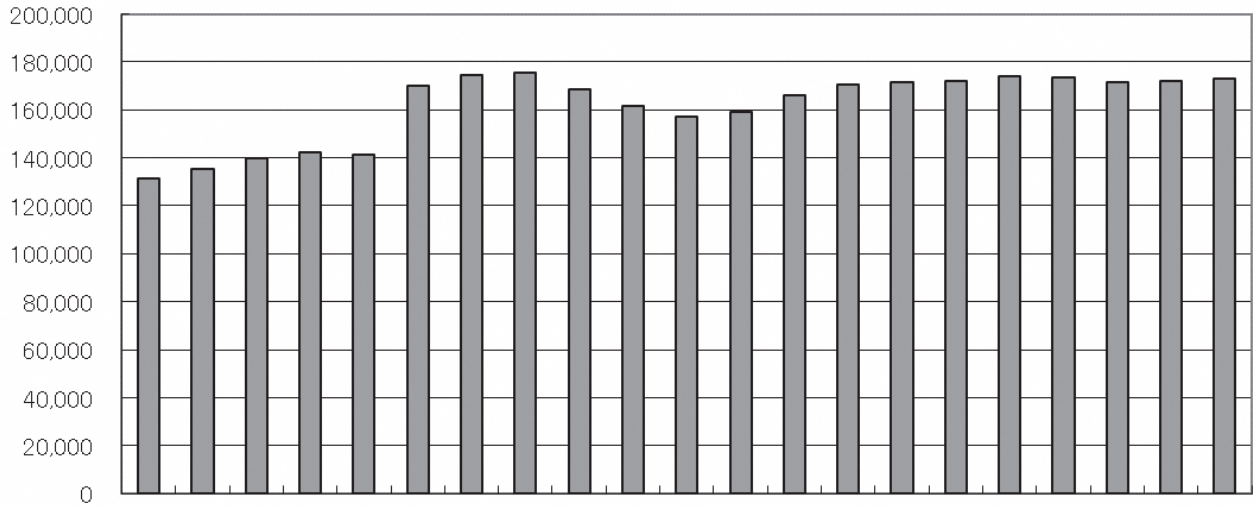
1. 総人口

令和2年10月1日現在の出雲市人口は172,775人です。前回調査（平成27年）と比較すると、837人（0.5%）増加しました。

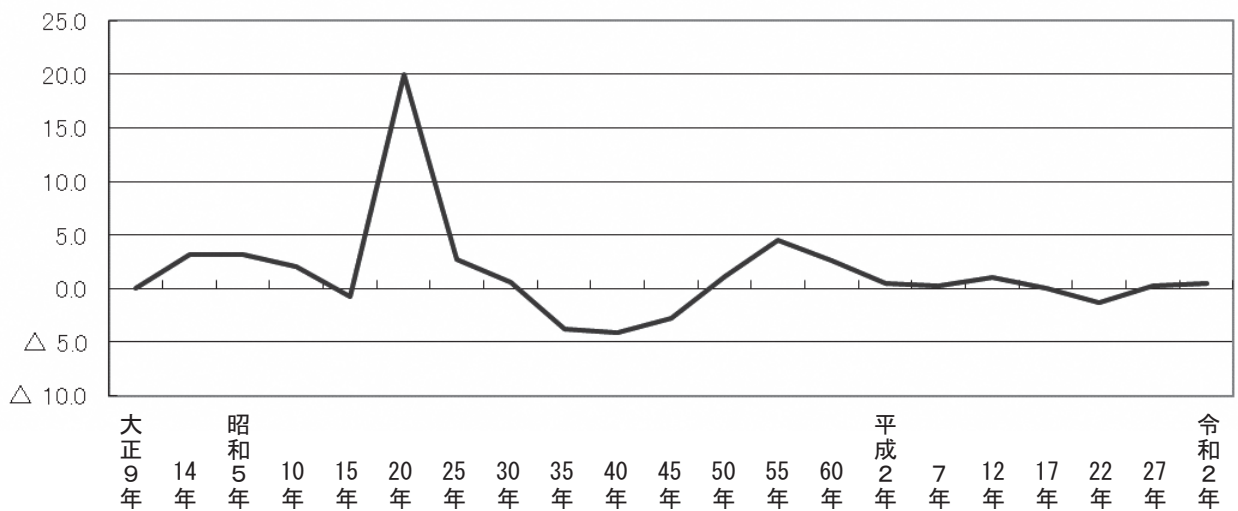
大正9年の第1回国勢調査時には、現市内区域の人口は131,256人で、以降増加傾向が続いていました。昭和30年調査では17万5千人を超えましたが、その後高度経済成長に伴う先進工業地域への人口流出などにより、昭和35年から昭和45年にかけて減少しました。

昭和50年からは、地方の企業誘致による全国的なUターン現象や島根医科大学（現島根大学医学部）・県立看護短期大学（現島根県立大学出雲キャンパス）の開学、住宅団地の開発などにより再び増加に転じ、昭和60年調査では再び17万人を突破しました。人口減少の著しい島根県にあって、平成2年調査からほぼ横ばい状態が続いています。

人口（人）



グラフ1 人口増減率の推移（%）



地区別人口をみると、塩冶地区が16,696人で最も多く、市全体の9.6%を占めています。

増加率に着目すると、平成27年と比較して一番高かったのは伊波野地区の8.3%で、5年間で495人増加という伸びを示しています。以下神門地区(7.9%)、四絡地区(7.8%)、直江地区(7.2%)、高松地区(6.8%)の順となり、14地区が増加しています。

一方、減少した地区(地域)をみると、平成27年と比較して鶺鷲地区が20.4%の減少率となっています。このほか、山間部での人口減少傾向が続いています。

男女別人口をみると、男性83,469人に対して、女性は89,306人で5,837人多くなっています。人口性比(女性100人に対する男性の人数)は93.4人です。

表1 地区別人口と増減率

単位:人、%

地区	人口			増減率	
	令和2年	平成27年	平成22年	令和2/平成27	平成27/平成22
総数	172,775	171,938	171,485	0.5	0.3
出雲地域	94,985	92,074	89,020	3.2	3.4
今市	6,401	6,276	6,470	2.0	△ 3.0
大津	9,990	9,525	9,433	4.9	1.0
塩冶	16,696	16,192	14,748	3.1	9.8
古志	1,991	2,117	2,133	△ 6.0	△ 0.8
高松	10,555	9,883	9,666	6.8	2.2
四絡	12,424	11,524	10,678	7.8	7.9
高浜	3,712	3,729	3,622	△ 0.5	3.0
川跡	10,190	9,752	8,988	4.5	8.5
鳶巣	1,630	1,557	1,539	4.7	1.2
上津	1,088	1,236	1,397	△ 12.0	△ 11.5
稗原	1,584	1,780	1,952	△ 11.0	△ 8.8
朝山	1,606	1,753	1,915	△ 8.4	△ 8.5
乙立	513	604	711	△ 15.1	△ 15.0
神門	8,032	7,445	7,195	7.9	3.5
神西	3,585	3,716	3,702	△ 3.5	0.4
長浜	4,988	4,985	4,871	0.1	2.3
平田地域	23,625	25,294	26,908	△ 6.6	△ 6.0
平田	6,365	6,525	6,886	△ 2.5	△ 5.2
灘分	3,299	3,524	3,691	△ 6.4	△ 4.5
国富	2,733	2,895	2,878	△ 5.6	0.6
西田	1,653	1,815	1,891	△ 8.9	△ 4.0
鰐淵	568	639	720	△ 11.1	△ 11.3
久多美	2,079	2,192	2,424	△ 5.2	△ 9.6
桧山	1,276	1,365	1,448	△ 6.5	△ 5.7
東	2,285	2,526	2,604	△ 9.5	△ 3.0
北浜	963	1,102	1,276	△ 12.6	△ 13.6
佐香	1,193	1,377	1,639	△ 13.4	△ 16.0
伊野	1,211	1,334	1,451	△ 9.2	△ 8.1
佐田地域	2,988	3,406	3,816	△ 12.3	△ 10.7
須佐	1,664	1,960	2,189	△ 15.1	△ 10.5
窪田	1,324	1,446	1,627	△ 8.4	△ 11.1
多伎地域	3,202	3,543	3,767	△ 9.6	△ 5.9
湖陵地域	5,017	5,270	5,369	△ 4.8	△ 1.8
大社地域	13,916	14,342	14,916	△ 3.0	△ 3.8
大社	4,827	5,168	5,537	△ 6.6	△ 6.7
荒木	6,152	6,030	6,004	2.0	0.4
遙堰	2,207	2,268	2,358	△ 2.7	△ 3.8
日御碕	562	665	769	△ 15.5	△ 13.5
鶺鷲	168	211	248	△ 20.4	△ 14.9
斐川地域	29,042	28,009	27,689	3.7	1.2
荘原	7,198	7,080	7,233	1.7	△ 2.1
出西	5,149	4,931	4,798	4.4	2.8
伊波野	6,444	5,949	5,619	8.3	5.9
直江	4,059	3,787	3,620	7.2	4.6
久木	2,310	2,310	2,366	0.0	△ 2.4
出東	3,882	3,952	4,053	△ 1.8	△ 2.5

2. 年齢別人口

人口を年齢別にみると、年少人口（15歳未満）23,315人、生産年齢人口（15歳以上65歳未満）95,332人、老年人口（65歳以上）51,944人となっています。平成27年と比較して、年少人口及び生産年齢人口はそれぞれ1.3%、2.1%減少、老年人口4.8%増加しており、少子高齢化が急速に進んでいることを示しています。

また、老年化指数（年少人口に対する老年人口比率）は222.8ポイントになりました。平成27年と比較して、12.9ポイント増加しました。県全体では279.1ポイントです。

表2 年齢(3区分)別人口

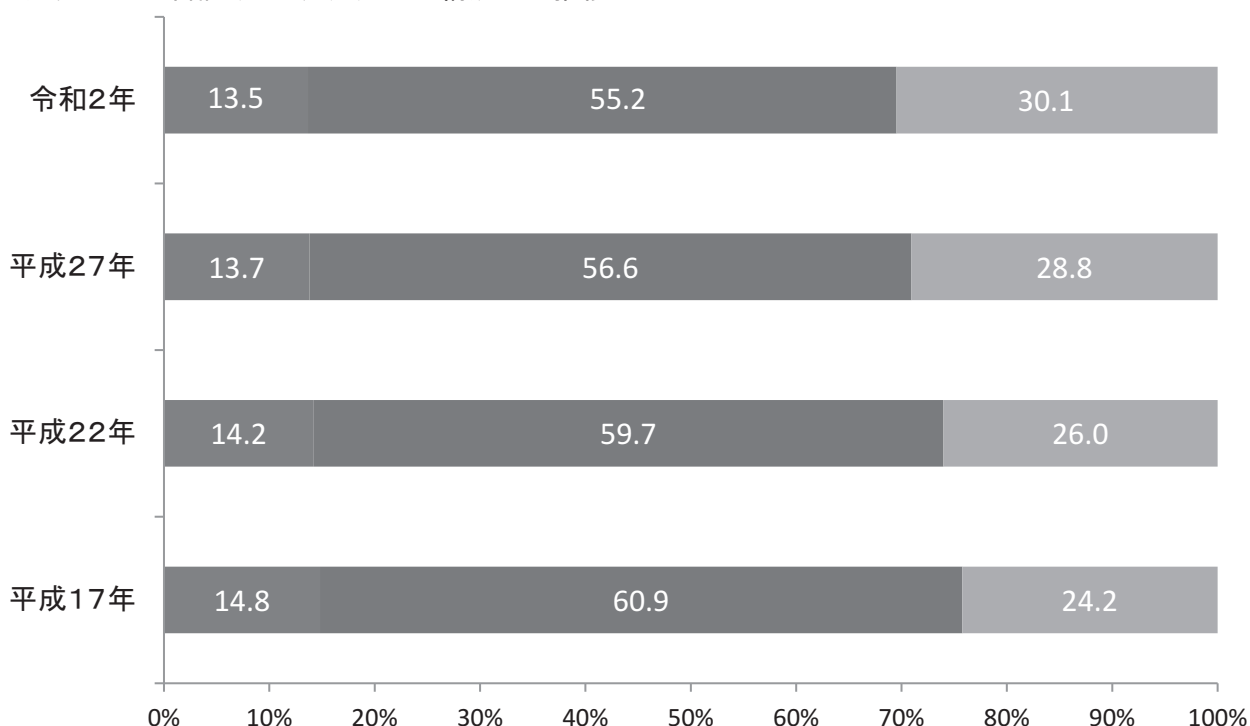
単位：人、%

地区	人口						増減率	
	令和2年		平成27年		平成22年		令和2/平成27	平成27/平成22
総数	172,775	(100.0)	171,938	(100.0)	171,485	(100.0)	0.5	0.3
年少人口	23,315	(13.5)	23,617	(13.7)	24,402	(14.2)	△ 1.3	△ 3.2
生産年齢人口	95,332	(55.2)	97,382	(56.6)	102,375	(59.7)	△ 2.1	△ 4.9
老年人口	51,944	(30.1)	49,563	(28.8)	44,584	(26.0)	4.8	11.2

(注)総数には「年齢不詳」を含む。

年少人口指数（生産年齢人口に対する年少人口比率）は24.5ポイント、老年人口指数（生産年齢人口に対する老年人口比率）は54.5ポイントになっています。

グラフ2 年齢（3区分）別人口構成比の推移



年齢別人口の割合を地区別にみると、年少人口は川跡地区16.4%、神門地区16.1%、高松地区15.8%など、人口の増加している地区が高くなっています。逆に、人口が減少している佐香地区6.1%、日御碕地区6.2%、北浜地区6.3%などでは、割合が低くなっています。

老年人口の割合は、日御碕地区51.1%、窪田地区48.4%、乙立地区47.8%で、鶯鷺地区では63.9%と、特に高い数値を示しています。

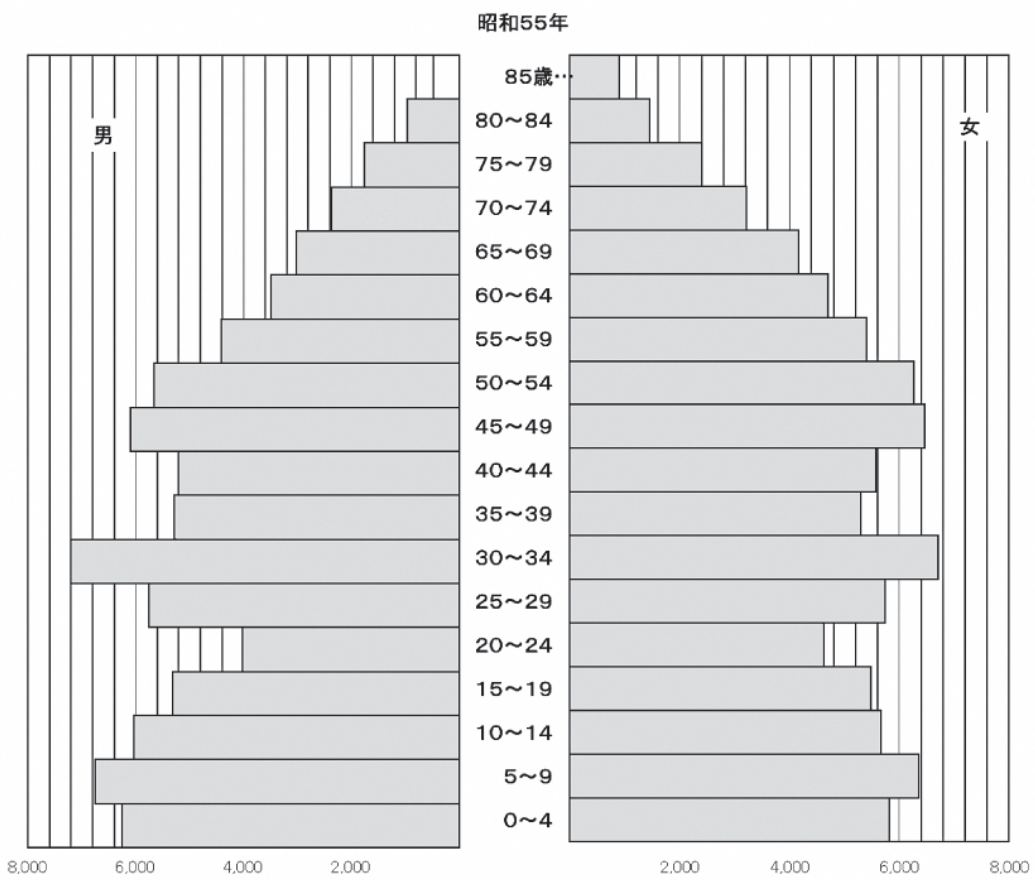
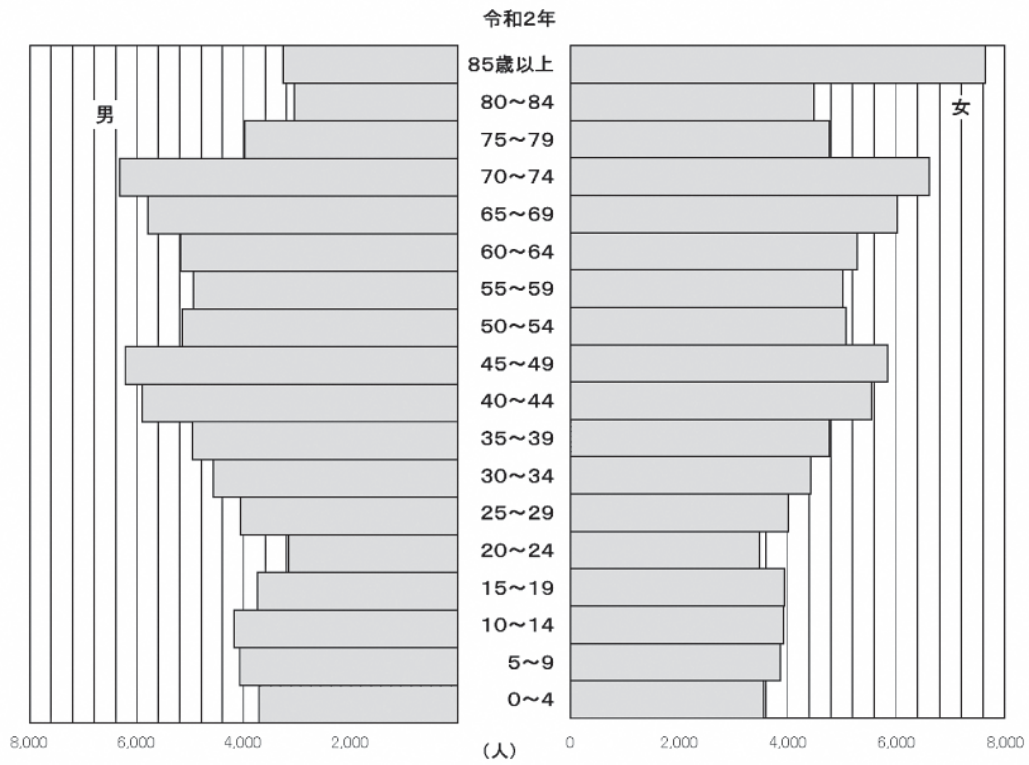
表3 地区、年齢別(3区分)別人口の割合

単位：%

地区	総数(人)	年少人口比率	生産年齢人口比率	老年人口比率
		(15歳未満)	(15歳～64歳)	(65歳以上)
総数	172,775	13.7	55.9	30.4
出雲地域	94,985	14.6	58.4	27.0
今市	6,401	13.0	56.4	30.6
大津	9,990	14.7	56.5	28.8
塩冶	16,696	13.9	62.8	23.3
古志	1,991	10.7	50.7	38.6
高松	10,555	15.8	59.0	25.2
四絡	12,424	15.7	63.7	20.6
高浜	3,712	15.0	53.5	31.5
川跡	10,190	16.4	61.8	21.8
鳶巣	1,630	14.2	54.1	31.7
上津	1,088	9.0	49.5	41.5
稗原	1,584	8.8	47.3	43.9
朝山	1,606	9.7	48.8	41.5
乙立	513	7.4	44.8	47.8
神門	8,032	16.1	57.7	26.2
神西	3,585	12.6	56.6	30.8
長浜	4,988	14.8	51.1	34.1
平田地域	23,625	11.5	51.9	36.6
平田	6,365	13.0	53.4	33.6
灘分	3,299	11.6	53.8	34.6
国富	2,733	13.1	55.5	31.4
西田	1,653	8.6	47.4	44.0
鰐淵	568	10.2	42.8	47.0
久多美	2,079	11.9	52.0	36.1
桧山	1,276	13.7	51.6	34.7
東	2,285	11.8	50.5	37.7
北浜	963	6.3	46.2	47.5
佐香	1,193	6.1	47.9	46.0
伊野	1,211	10.5	52.7	36.8
佐田地域	2,988	9.4	43.8	46.8
須佐	1,664	9.9	44.7	45.4
窪田	1,324	8.9	42.7	48.4
多伎地域	3,202	10.6	46.1	43.3
湖陵地域	5,017	12.4	49.0	38.6
大社地域	13,916	13.2	49.2	37.6
大社	4,827	11.3	47.7	41.0
荒木	6,152	15.6	51.7	32.7
遙堪	2,207	13.1	48.6	38.3
日御碕	562	6.2	42.7	51.1
鶉鷺	168	6.6	29.5	63.9
斐川地域	29,042	13.8	57.6	28.6
荘原	7,198	14.1	54.8	31.1
出西	5,149	15.3	56.7	28.0
伊波野	6,444	13.7	64.7	21.6
直江	4,059	13.8	58.8	27.4
久木	2,310	12.6	52.5	34.9
出東	3,882	12.1	54.2	33.7

(注) 総数には「年齢不詳」を含む

グラフ3 人口ピラミッド

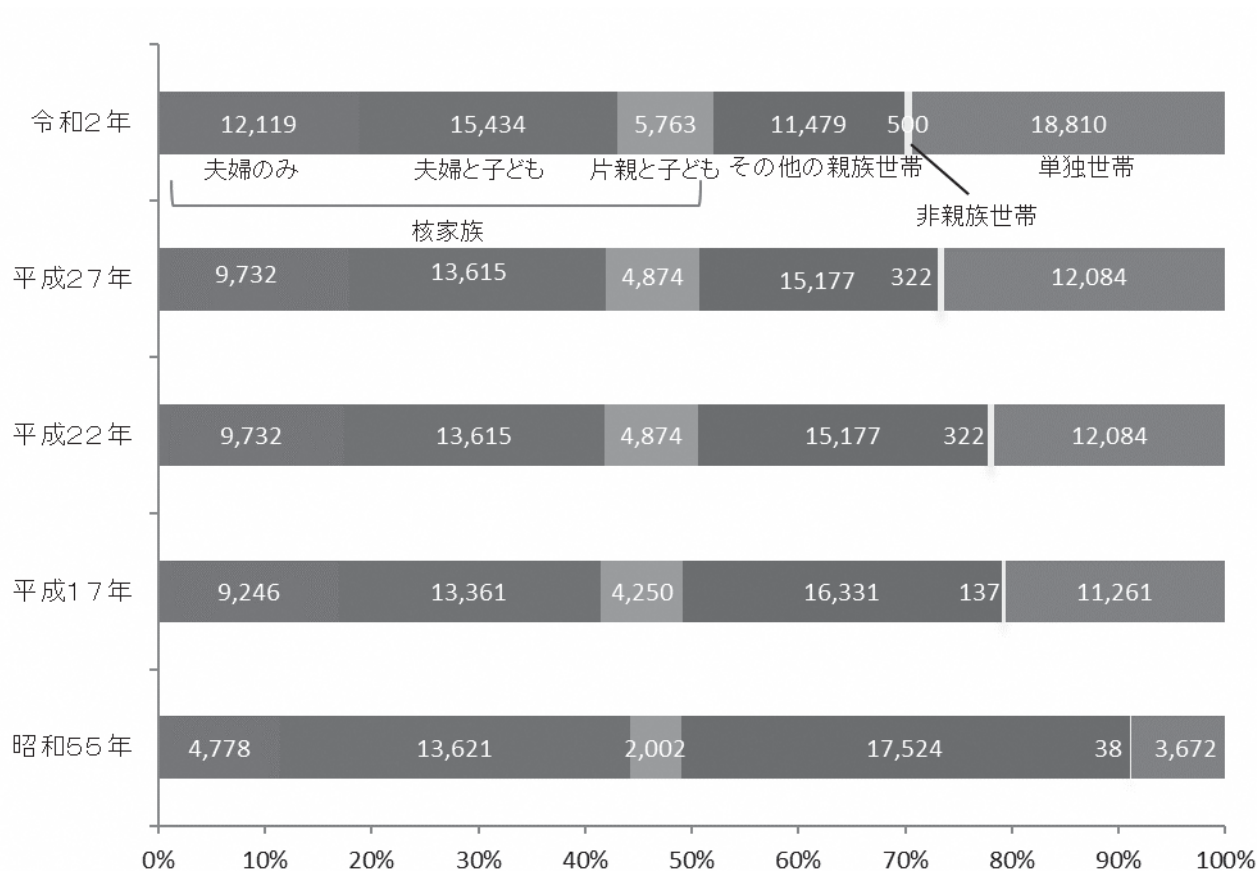


3. 世帯数

出雲市の総世帯数は64,408世帯で、平成27年と比較すると、4,278世帯（7.1%）増加しています。そのうち、一般世帯数は64,211世帯です。一般世帯の1世帯あたり世帯人員は平成27年と比較すると0.17人減少し、2.62人でした。

一般世帯を家族類型別にみると、核家族世帯数は33,316世帯で、平成27年から9.7%増加し、一般世帯の51.9%を占めています。また、単独世帯数が18,810世帯と一般世帯の29.3%を占め、増加してきています。

グラフ4 一般世帯の家族類型別割合の推移



4. 65歳以上世帯員のいる世帯

65歳以上世帯員のいる一般世帯数は31,264世帯で、一般世帯の48.7%を占め、平成27年から1.7%減少しています。

一方、65歳以上の高齢者単身者数は5,913人で、平成27年に比べ17.4%増加しており、増加傾向が続いています。

表4 世帯人員(7区分)別65歳以上世帯員のいる一般世帯数、一般世帯人員及び65歳以上世帯人員

単位:世帯、人

区分	総数	世帯人員1人	世帯人員2人	世帯人員3人	世帯人員4人	世帯人員5人	世帯人員6人	世帯人員7人以上
65歳以上世帯員のいる一般世帯数	31,264	5,913	10,494	5,991	3,483	2,250	1,812	1,321
一般世帯人員	168,073	18,810	34,514	34,818	34,372	21,045	13,518	10,996
65歳以上世帯員人員	48,187	5,913	17,189	10,120	5,706	3,555	3,153	2,551

表5 年齢(5歳階級)、男女別高齢単身者数

単位:人

区分	総数	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	60歳以上
65歳以上の高齢単身者数	5,913	1,295	1,427	1,025	964	1,202	7,037
男	2,140	705	644	306	220	265	2,810
女	3,773	590	783	719	744	937	4,227

表6 夫の年齢(7区分)、妻の年齢(7区分)別60歳以上夫婦のみの世帯数

単位:世帯

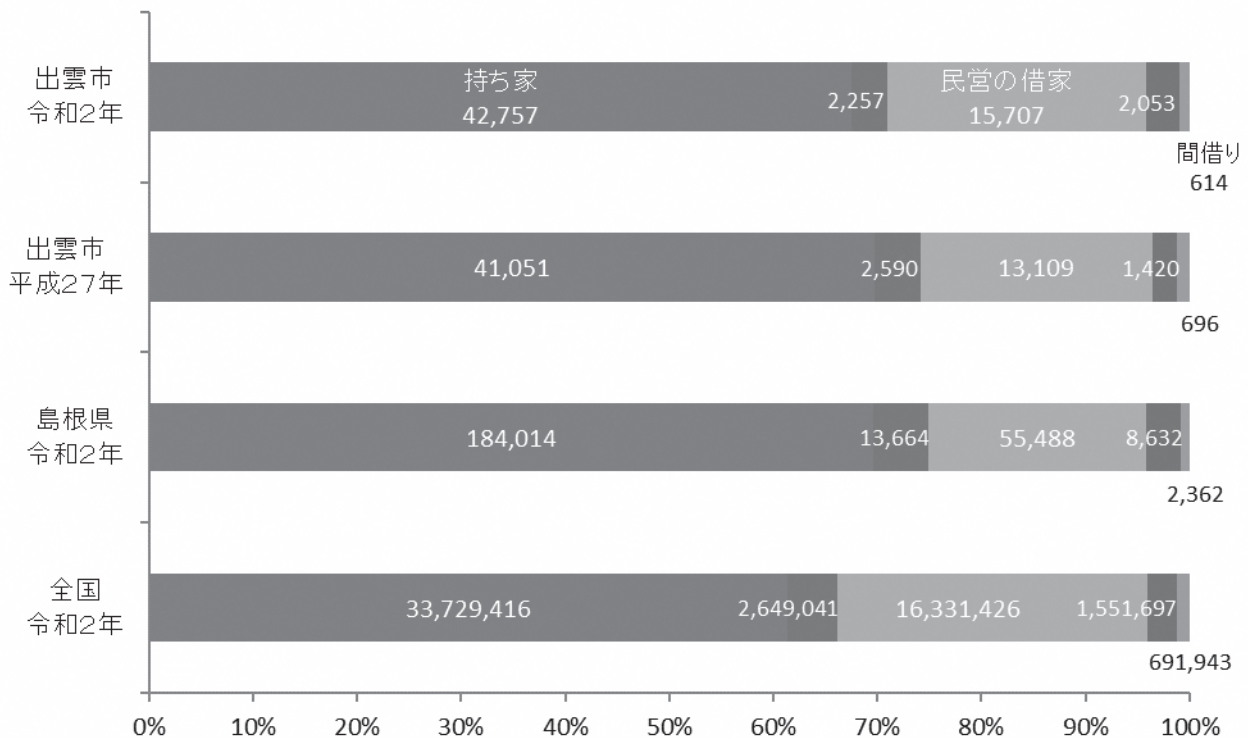
夫の年齢		妻が60歳以上							妻が60歳未満
(5歳階級)	総数	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上		
総数	7,660	1,301	1,927	2,064	1,200	794	374	702	
夫が60～64歳	618	517	74	26	-	1	-	505	
夫が60歳以上									
65～69歳	1,585	636	815	123	8	2	1	159	
70～74歳	2,241	135	944	1,094	56	10	2	30	
75～79歳	1,462	9	88	740	578	43	4	7	
80～84歳	1,017	3	6	73	494	402	39	1	
85歳以上	737	1	-	8	64	336	328	-	
夫が60歳未満	90	75	15	-	-	-	-	90	

5. 住 宅

住宅に住む一般世帯数は63,388世帯で、そのうち持ち家に住む世帯数が42,757世帯と最も多く、67.5%を占めています。持ち家の割合は減少してきており、平成27年と比較して2.2ポイント減少しています。逆に民営の借家に住む世帯数は15,707世帯（24.8%）で、平成27年と比較して2.5ポイント増加しています。

持ち家に住む世帯の割合は、全国平均の61.4%と比べると6.1ポイント高く、島根県全体平均の69.7%よりも2.2ポイント低くなっています。

グラフ5 住宅に住む一般世帯の所有関係別割合の推移



6. 労働力人口

15歳以上人口147,276人のうち、労働力人口（就業者と完全失業者数）は91,097人で、平成27年から1.6%増加しました。

なお、完全失業者数は2,382人で、平成27年より124人（男性178人減、女性54人増）減少しています。

また、労働力率（15歳以上人口に占める労働力人口の割合）は61.9%です。男性が69.5%に対して、女性は54.9%になっています。

表7 労働力状態(3区分)、男女別15歳以上人口

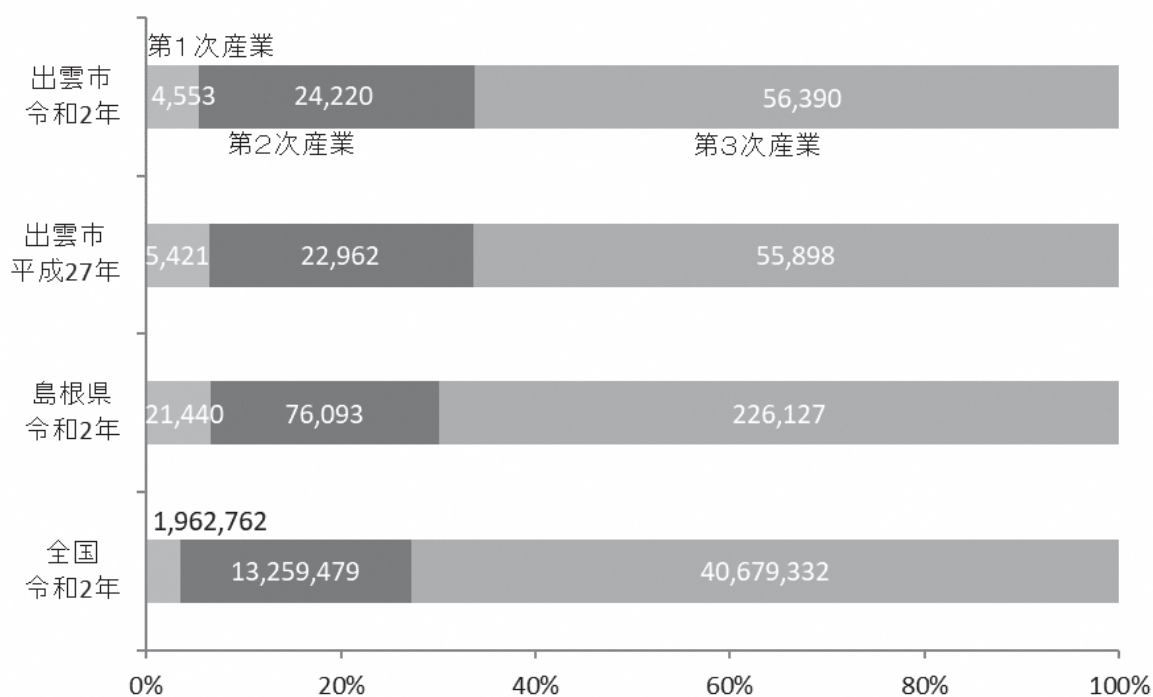
労働力状態(3区分)	令和2年			平成27年		
	総数	男	女	総数	男	女
15歳以上人口	147,276	70,289	76,987	146,945	69,876	77,069
労働力人口	91,097	48,860	42,237	89,652	49,143	40,509
就業者	88,715	47,379	41,336	87,146	47,484	39,662
完全失業者	2,382	1,481	901	2,506	1,659	847
非労働力人口	48,954	17,703	31,251	54,114	19,001	35,113
労働力率(%)	61.9	69.5	54.9	61.0	70.3	52.6

注)総数には労働力状態「不詳」を含む。

就業者数を産業3部門別にみると、第1次産業4,553人、第2次産業24,220人、第3次産業56,390人となっています。平成27年と比較して、第1次産業では16%(868人)減少しましたが、第2次産業では5.5%(1,258人)、第3次産業では0.9%(492人)増加しています。

全就業者に占める割合では、第1次産業が5.4%、第2次産業が28.4%、第3次産業が66.2%です。

グラフ6 産業(3区分)別15歳以上就業者の割合



(注) 分類不能は含まず。

就業者数を産業大分類別にみると、「製造業」16,833人(19%)で最も多く、以下「医療・福祉」14,808人(16.7%)、「卸売・小売業」が12,707人(14.3%)、「建設業」7,352人(8.3%)となっています。

第1次産業の9.3%を占める「農業・林業」は4,157人(4.7%)となっています。

グラフ7 産業(大分類)別15歳以上就業者の割合

